

公共交通の3つの視点 ～環境・健康・安全～



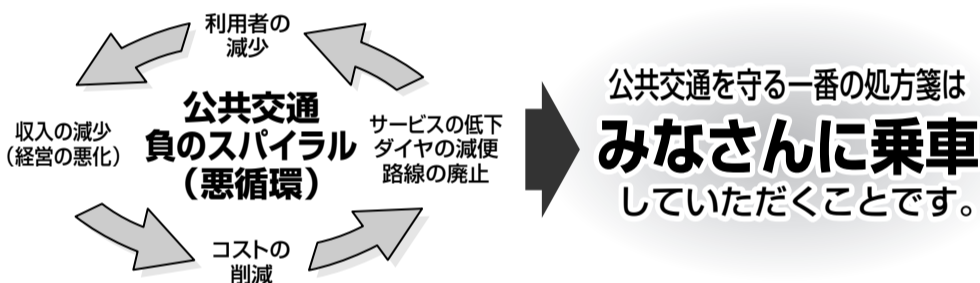
伊丹市では、市バスをはじめ民間の路線バスや電車など、公共交通機関が比較的充実しており、市民の皆さんの移動手段として日常生活の中に定着しています。

そして、公共交通が充実することによって、利便性が高く生活しやすいまち、人が集まりやすいまち、誰もが外出しやすいまち、自動車に依存しない便利なまちなどの形成につながっていきます。

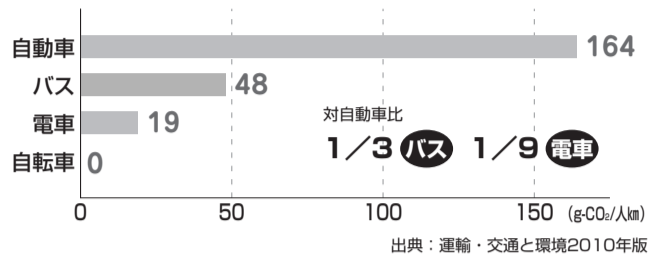
しかしながら、全国的に見て、超高齢社会の到来や本格的な人口減少時代への突入、車中心のライフスタイルなど、社会構造の変化により公共交通の利用者が激減し、経営の悪化から事業の廃止に追い込まれる事業者が増加しています。

今、車を運転できる人は、公共交通がなくなってもすぐに不都合を感じないでしょう。しかし、車を運転する人も歳を取って運転できなくなってしまったら公共交通が必要になるかもしれません。また、公共交通がなくなれば、車を運転できないお年寄りや学生、免許を持たない人などは、たちまち不便な生活を強いられます。

多くの方が公共交通を利用すれば、ダイヤや路線が充実します。みんなが少しずつ環境のこと、健康のこと、安全のことを考え、公共交通を利用することで、みんなのまち、みんなの公共交通を守ることができるのです。

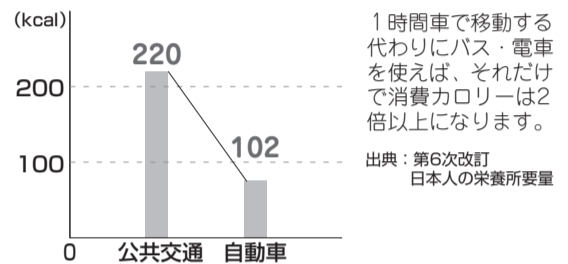


環境 1人を1km運ぶ際のCO₂排出量



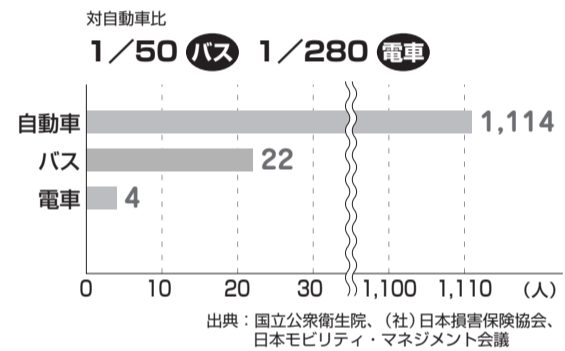
健康 移動に伴う消費カロリー

メタボ脱却は、公共交通から！



安全 輸送1億人あたりの死傷者数

その差は歴然、けた違いの安全性！



モビリティ・マネジメントの推進

交通局では、一人ひとりの移動(モビリティ)をマイカーの利用から市バスなどの公共交通の利用へと自発的な転換を促す「モビリティ・マネジメント」活動を推進しています。

- 週に一度は電車やバスで通勤する
- 買い物やレジャーの際、遠くに行かず、近くの目的地に変える
- できるだけ徒歩や自転車で移動する
- 一度の外出で、いろいろな用事を済ます

「ノーマイカーデー(毎月20日)」や「マイバス・マイ電車の日(毎月最終金曜日)」の浸透を図る啓発活動とともに、小学生を対象とした出前講座を開催することに力を注いでいます。

将来の大切なお客様である子どもたちに“生活に市バスなどの公共交通をうまく取り入れて使いこなす”リーダーになってもらいたいと考えています。



市内小学生を対象とした出前講座

- プログラム**
- ① バス装備のいろいろ さわってみよう! 見てみよう!
 - ② バスの乗り方・降り方
 - ③ 乗車体験 さあ、乗ってみよう!
 - ④ 地球環境のこといろいろ
 - ⑤ 質問コーナー

▼地球環境のこといろいろ



▼バスの乗り方・降り方



今後も、地域に出向いて市バスなどの公共交通の重要性をPRするとともに自らのライフスタイルを見直すきっかけとなるようプログラムを工夫しながら活動を展開します。